新日本カレンダー株式会社
環境経営レポート2023

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	SUSTAINABLE GREEN		

対象事業所

本社・PEPPY HAPPY PLACE・東京支店・名古屋支店

対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

発行日：2024年8月1日

エコアクション21®
認証番号 0007514

2023 年度
新日本カレンダー株式会社 環境経営レポート　目次

01 環境経営レポート発行にあたり …… 3
2023 年度環境管理責任者、環境管理事務局より

02 組織・環境経営システムの概要 …… 4～5

03 新日本カレンダー株式会社　環境経営方針 …… 6
（本社・PHP 事業部・東京支店・名古屋支店・九州支店）

04 環境目標に対する実績と中期目標 …… 7～8

05 2023 年度環境負荷低減のための取り組み …… 9～15
及び次年度の計画
電気使用量の削減 …… 9～10
ガス・ガソリン給油量の削減 …… 10
廃棄物の削減、省資源の取り組み …… 11～12
社内備品のグリーン購入促進、一般医薬品の適正管理 …… 12
環境配慮型製品の販売促進 …… 13～14
環境活動の報告 …… 15

06 環境関連法規制等の順守状況 …… 16

07 代表者による 2023 年度取り組みの総括 …… 17
見直し・指示

01 環境経営レポート発行にあたり

新日本カレンダーは 1922 年の創業以来、人々の暮らしに寄り添ったカレンダーを通じて皆様と共に日々を重ねて参りました。創業 100 周年を迎えた 2022 年には 3 ヵ年の中期計画を策定し、2023 年は計画達成に向けたスタートを切る年となりました。創業から続くカレンダーはもちろんですが、ペット用品の通信販売業（ペピイ事業）、ペット共生型有料老人ホームの運営（PHP 事業）、学習ノートを中心とした学童用品の取扱い（ハーモニー事業）と様々な事業を通じて、これから先 10 年・20 年と皆様の暮らしに貢献して参ります。

2023 年度の環境活動ですが、新型コロナウイルスの 5 類感染症移行に伴い、2020 年度から 3 年間実施を見合わせていた本社環境活動発表会を実施することが出来ました。前年までの動画配信では一方的な情報発信となっており「どこまで伝わっているか、何に疑問をもったか」といったことを把握することが非常に困難でしたが、皆が集まることで発表に対しての反応を見て、アンケートもその場で記入するといった流れを通して、「良かった点、活動の更なるレベルアップに向けた改善点」を発見することが出来ました。

数値の面では、前年に続き酷暑に見舞われ電気使用量が目標に届かなかった拠点もありましたが、一人一人の日々の取り組みの積み重ねにより、目標に対しての増加幅を最小限に抑えることが出来たのではないかと思っております。

物価高や世界各地の紛争など先の見えない不透明な時代ではありますが、一企業として出来ることを着実に実行し、邁進していく所存です。

今後も環境活動の成果を皆さまにお伝えし、弊社の取り組みにご理解を頂くと同時に、ご意見・ご感想を頂戴しながら更に発展させることで、微力ではありますが SDGs に掲げられた「持続可能な社会」の実現に貢献して参ります。

2023 年度環境管理責任者　水山 統之

環境管理事務局一同

02 組織・環境経営システムの概要

※2024 年 4 月 1 日現在

■事業者名及び代表者

新日本カレンダー株式会社　代表取締役 社長 宮﨑 安弘

■所在地

本社　　：大阪府大阪市東成区中道 3 丁目 8 番 11 号　TEL：06-6971-4455

PEPPY HAPPY PLACE TAMATSUKURI（PHP 事業部）：大阪府大阪市東成区中道 3 丁目 8 番 21 号

TEL：050-3734-0371

東京支店　：東京都千代田区神田神保町 3-7-1　ニュー九段ビル 8 F　TEL：03-5216-8825

名古屋支店：愛知県名古屋中区栄 2-11-7　伏見大島ビル 2 F　TEL：052-231-8338

九州支店　：福岡県福岡市中央区大名 1 丁目 4 番 1 号　ND ビル 5 階　TEL：092-717-6810

三田工場　：兵庫県三田市テクノパーク 5-9　TEL：079-568-3344

鹿児島配送センター：鹿児島県鹿児島市小山田町 6496 番地　TEL：099-238-5856

北関東カレンダー物流センター：栃木県真岡市久下田 803 番地 1　TEL：0285-73-1610

丸亀商品センター：香川県丸亀市前塩屋町 1 丁目 2－27　TEL：0877-58-3725

■事業の規模

・資本金　15,000 万円　　・全社売上額 115.48 億円（2023 年度）

	本社	PHP	東京	名古屋	九州
従業員 (人)	186	20	19	11	6
延べ床面積 (㎡)	3,525	3,702	152	183	133

■事業年度

2 月～翌年 1 月（環境活動の事業年度は 4 月～翌年 3 月）

■環境保全関係の責任者

代表者：代表取締役 社長　宮﨑 安弘

環境管理責任者 兼 エコアクション 21 運用プロジェクトリーダー：取締役 総務本部長　勝田 裕志

本社

PEPPY HAPPY PLACE TAMATSUKURI

■認証・登録の対象組織・事業内容

登録組織名：新日本カレンダー株式会社
本社・東京支店・名古屋支店・九州支店・PEPPY HAPPY PLACE TAMATSUKURI
（認証・登録番号 0007514）

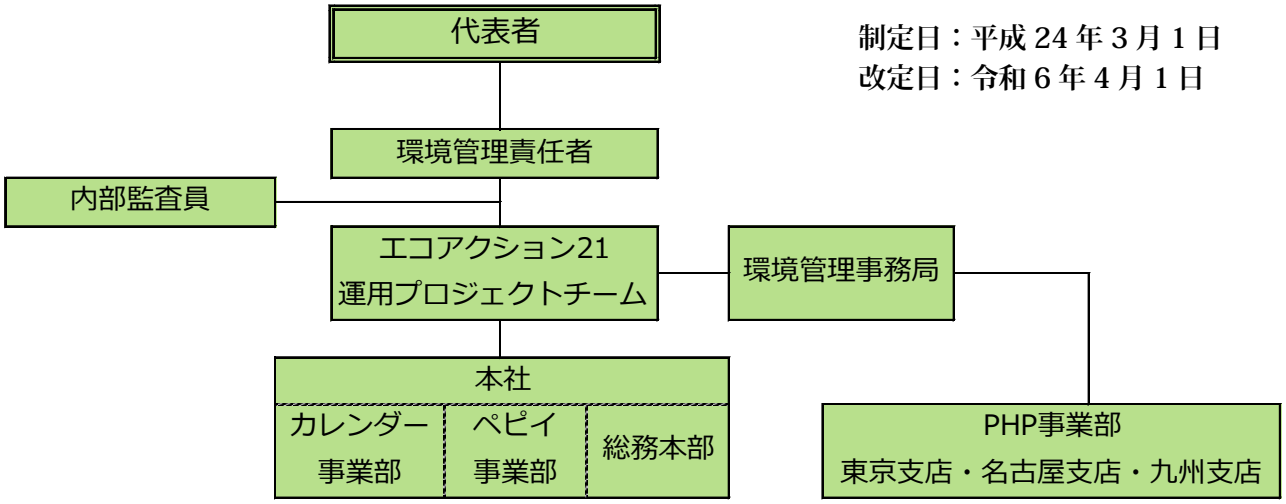
活　　動　：カレンダー・団扇・扇子及び販促物の企画・営業、ペット用品通信販売の企画・営業、
動物病院向け医療用消耗品及び医療機器の販売・ペット共生型有料老人ホームの経営

登録組織名：新日本カレンダー株式会社　三田工場及び配送センター（認証・登録番号 0001814）
（三田工場・鹿児島工場・北関東カレンダー物流センター・丸亀商品センター）

活　　動　：カレンダー・団扇・扇子及び紙製品の製造・出荷、ペット用品通信販売の出荷

新日本カレンダー株式会社　本社・PHP事業部・支店　環境経営システム

制定日：平成 24 年 3 月 1 日
改定日：令和 6 年 4 月 1 日



役割	担当者	担当内容
代表者	宮﨑 安弘 (代表取締役社長)	環境方針の制定・見直し、 環境経営システムの評価・見直し、 活動の評価と指摘・是正事項の確認、 環境関連法規の遵守評価、環境活動目標の承認
環境管理責任者	勝田 裕志 (取締役)	環境活動内容の承認、 環境活動結果を代表者へ報告、 内部監査員の任命、各部門拠点の指導・教育
エコアクション21 運用プロジェクトチーム	各フロアより1名選出	ミーティングの実施・環境活動の提案、 日常の環境活動実施・推進、 活動発表会の運営、社外環境活動への参加
環境管理事務局	総務部	プロジェクトミーティングへの参加、 環境活動の実績集計・管理、内部監査の運営 環境に関する外部との窓口、各拠点の活動指導・教育
環境活動サポーター	デコにゃん	社内環境活動の広報

03 新日本カレンダー株式会社　環境経営方針

新日本カレンダー株式会社

本社・PHP 事業部・東京支店・名古屋支店・九州支店

環 境 経 営 方 針

環境保全が経営の重要課題である事を踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

カレンダー・団扇・扇子・学習帳及び販促物の企画営業・販売、ペット用品の企画営業・通信販売、動物病院への営業、ペット共生型有料老人ホームの運営等、多岐にわたる事業活動において環境負荷低減の為、行動指針を次のように定めます。

＜環境保全への行動指針＞

1．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

2．以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立てて、
継続的改善に努めます。

① 低炭素社会実現のため二酸化炭素削減（省エネルギー）

② 省資源化の推進（含む節水）

③ 廃棄物等、排出量の削減

④ 環境対応の商品・サービスの拡充と積極的なアピール

⑤ 物品全般におけるグリーン調達推進

⑥ 一般医薬品の適正管理

本社・PHP 事業部及び各支店で働く全ての従業員に、この環境方針を周知します。

2012 年 2 月 1 日制定
2019 年 4 月 1 日改訂

代表取締役　社長　宮﨑安弘

04 環境目標に対する実績と中期目標 Ⅰ

環境活動項目		単位	拠点	基準年（2021年）	2023年 目標	2023年 実績	2023年 評価	2024年 目標	2025年 目標	2026年 目標
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO_2	本社	80,133	77,484	76,082	振り返りをして2024年度頑張りましょう	75,512	75,346	75,249
			PHP	86,331	87,140	127,941		127,812	127,762	127,711
			東京	19,919	18,375	20,281		18,294	18,202	18,156
			名古屋	17,169	15,178	12,166		11,694	11,570	11,442
			九州	13,847	13,687	13,069		12,372	12,154	11,936
			合計	217,399	211,864	249,539		245,684	245,034	244,494
二酸化炭素排出量の削減	電気	kWh	本社	138,777	130,710	134,369	振り返りをして2024年度頑張りましょう	133,000	132,900	132,800
			PHP	156,341	157,950	235,248		235,000	234,900	234,800
			東京	34,578	33,600	37,576		33,500	33,400	33,350
			名古屋	8,024	8,000	7,444		7,400	7,380	7,350
			九州	28,362	28,000	26,758		25,000	24,500	24,000
			合計	366,082	358,260	441,395		433,900	433,080	432,300
	ガス	㎥	本社	192	192	53	よくできました	52	51	50
			PHP	4,936	4,950	6,519		6,515	6,514	6,513
			九州	4	4	2				
			合計	5,132	5,146	6,574		6,567	6,565	6,563
	ガソリン	L	本社	5,405.74	5,946.31	4,709.23	大変よくできました	4,750.00	4,700.00	4,680.00
			東京	1,787.98	1,315.00	1,355.16		1,300.00	1,280.00	1,270.00
			名古屋	6,054.12	5,200.50	3,996.20		3,800.00	3,750.00	3,700.00
			九州	1,208.22	1,200.00	1,143.96		1,140.00	1,130.00	1,120.00
			合計	14,456.06	13,661.81	11,204.55		10,990.00	10,860.00	10,770.00
廃棄物の削減	一般廃棄物	t	本社	33.078	34.980	35.000	振り返りをして2024年度頑張りましょう	35.000	34.800	34.600
			PHP	3.530	4.900	9.679		9.600	9.590	9.550
			東京	0.165	0.175	0.182		0.170	0.165	0.163
			名古屋	0.795	0.780	0.525		0.520	0.510	0.500
			九州	0.530	0.530	0.437		0.400	0.390	0.380
			合計	38.098	41.365	45.822		45.690	45.455	45.193
	産業廃棄物		本社	43.115	42.700	44.120	振り返りをして2024年度頑張りましょう	41.500	41.300	41.100
			PHP	0.658	0.770	0.652		0.840	0.830	0.825
			合計	43.773	43.470	44.772		42.340	42.130	41.925

●二酸化炭素排出係数について

・電気

拠点	会社名	係数	年度
本社・PHP	日本テクノ	0.484kg-CO2	2021年度
東京支店	東京電力	0.456kg-CO2	2021年度
名古屋支店	中部電力	0.388kg-CO2	2021年度
九州支店	九州電力	0.389kg-CO2	2021年度

※全拠点、調整後排出係数

・ガス…全拠点2.16

04 環境目標に対する実績と中期目標 Ⅱ

環境活動項目		単位	拠点	基準年（2021年）	2023年 目標	2023年 実績	2023年 評価	2024年 目標	2025年 目標	2026年 目標
廃棄物の削減	有価物の割合	%	本社	35.2	32.8	34.3	大変よくできました	34.5	34.6	34.7
			東京	58.4	66.0	69.6		63.5	63.6	63.7
			名古屋	76.1	80.0	79.9		80.0	80.2	80.5
			九州	89.9	60.0	89.1		50.0	50.2	50.3
			平均	55.7	59.7	68.2		57.0	57.2	57.3
省資源	コピー用紙購入量削減	枚	本社	831,625	745,000	636,625	大変よくできました	715,000	700,000	650,000
			PHP	39,000	45,900	55,250		52,500	52,400	52,300
			東京	119,500	108,000	103,000		107,500	107,000	106,500
			名古屋	141,250	151,000	133,750		133,500	133,250	133,000
			九州	57,500	57,500	62,500		62,000	61,750	61,500
			合計	1,188,875	1,107,400	991,125		1,070,500	1,054,400	1,003,300
	節水	㎥	本社	1,495	1,868	1,704	振り返りをして2024年度頑張りましょう	1,455	1,450	1,445
			PHP	3,077	3,400	4,870		4,870	4,865	4,860
			九州	77	80	82				
			合計	4,649	5,348	6,656		6,325	6,315	6,305
従業員数（※）		人	本社	164	182					
			PHP	16	20					
			東京	21	19					
			名古屋	12	11					
			九州	7	6					

※従業員数は2024年3月31日現在

●有価物について

・有価物の割合は「有価物/廃棄物全体」により算出
・有価物の本社にはPHPを含む

●基準年並びに前年を超える（又は大幅に減少する）目標値設定について

・本社はテナント企業の一部移転に伴い、ガスの使用量が大幅減少の見込みとなっている。
・PHPは入居者が年々増加しているため、各項目で基準年や前年を超える設定となっている。
　特にガスと水道は、大浴場の本格稼働により基準年を下回ることが困難である。
　また、一般廃棄物については計量方法が変更となったため、排出している袋の個数は微増だが、
　重量が大幅増となったため、基準年や前年を超える設定となっている。
・本社の一般廃棄物は従業員数増加が続いており、基準年や前年を超える設定となっている。
・九州支店は2024年3月の移転に伴い、2024年度以降はガスと水道の計測不可。
　また、有価物の廃棄量は大幅減少見込みのため、有価物割合の目標が基準年や前年を下回る設定となっている。

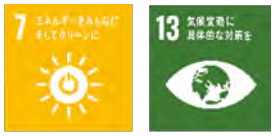
●各項目の評価基準について

大変よくできました	・全拠点で目標達成 ・一部拠点で目標未達成だが、合計で目標を達成
よくできました	・合計では目標未達成だが、ほぼ全ての拠点で目標達成
振り返りをして2024年度頑張りましょう	・一部又は全拠点で目標未達成、合計も未達成

05 環境負荷低減のための取り組み及び次年度の計画

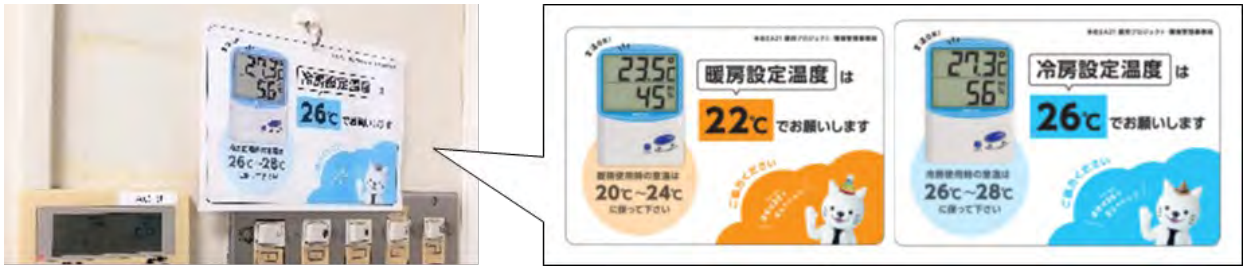
電気使用量の削減

関連するSDGsのゴール



① エアコンのリモコン横に冷暖房設定温度の貼り付け

館内の冷房設定は 26℃、暖房設定は 22℃を目安として案内。
場所やフロアによって暑い・寒いはあるため、前後 1～2℃の幅を持たせて運用。



② 館内換気の時間設定

新型コロナウイルスが 5 類へ移行されるまでは、エアコン使用時の換気を原則始業前や昼休憩、15 時前後に限定し、冷暖房へ負荷をかけない運用を実施。
5 類移行後の換気については、各部署の判断に委ねてエアコンを使用。

③ ハイブリッドファンの導入

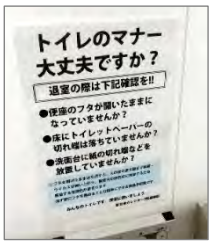
エアコンの風が直撃する席、全く当たらない席など、同じ室内でも場所によって「暑い・寒い」といった温度差を少なくするため、エアコンの風を拡散するハイブリッドファンを導入。
以前は冷房稼働時に上着を着る従業員もいたが、そういったこともなくなり、夏冬問わず快適に過ごせるようになった。

④ デマンド監視システムの活用

本社 2 階総務本部と PHP 事務所に親機を設置。
本社には 1 階と 4 階へ電気使用量を色で知らせるスマートクロックも設置。
電気使用量が急増し、目標デマンド値を超える可能性がある場合は赤色になり警告音も鳴るが、2023 年度は黄色の注意になる頻度も少なかった。
各自で空調の設定温度変更や不要箇所の消灯を行ったことで、電気使用量を抑えることが出来た。

⑤ 保温機能付き便座の夏場保温 OFF、蓋閉めの注意喚起

トイレの蓋が開いたままの状態が本社で多く見られたため、安全衛生委員会と連携して、以前より目に留まりやすい掲示物へ変更した。



⑥ 従業員のエレベーター使用を原則禁止

本社のエレベーターは、体調不良や荷物運搬等以外を除き従業員は原則使用禁止。
2023 年度は新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い、来客数や従業員の出勤率が増加（在宅勤務の減少）したことで、使用率や前年度をやや上回ったが、コロナ禍以前の数値を大幅に下回っている。

■本社エレベータードア開閉数の変遷

2012年度(※)	2013年度	～	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
77,256	80,732		58,835	43,296	43,011	44,561

※EA21認証・取得年度

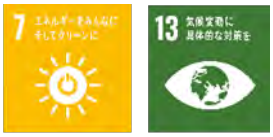
⑦ その他の取り組み

・昼休憩、定時前後の不要照明消灯。エアコンの停止。
・PEPPY HAPPY PLACE 夜間常夜灯の点灯箇所見直し。
・直射日光を避けるためのブラインド、遮熱シートの設置。
・クールビズ、ウォームビズの実施
・DIY による会議室の二重窓設置（右写真参照）

次年度についても同等の取り組みを継続すると同時に、太陽光発電も検討をする。

ガス使用量・ガソリン給油量の削減

関連するSDGsのゴール



・夏場の給湯器使用を控える
・ガス給湯器から電気温水器へ変更

PEPPY HAPPY PLACE の共用部で、ガスの使用を一部停止したことで、目標は未達成で終わったが、増加量を最小限で抑えることが出来た。
また、本社では老朽化したガス給湯器を電気温水器へ入れ替えた。
（本社内のガス給湯器は 2023 年度終了時点で 0 ）

・車両走行記録の記入、燃費算出
・エコドライブの推進
・公共交通機関、社用自転車の利用促進
・ハイブリッド車への入替

ガソリン給油量は新型コロナウイルスの 5 類移行後も大きく増えることはなかった。
特に名古屋支店は営業車 1 台をハイブリッド車へ入れ替えたことで燃費が向上し、給油量を抑え前年実績や目標値を大幅に下回ることが出来た。

2023年度 燃費上位車両

アクア	23.78km/L	ペピイ(本社)
ノート	22.25km/L	ペピイ(東京)
アクア	20.40km/L	総務部

給油のタイミング等に左右はされるが、
2023年度内の走行距離と給油量で算出した結果

ガソリン車から
ハイブリッドの
プロボックスへ
（名古屋支店）

次年度についても同等の取り組みを継続する。

廃棄物の削減

関連するSDGsのゴール

① 紙ごみ・廃プラスチック類の混入禁止に伴う分別の徹底、ボトルキャップ回収の実施

拠点によって分別方法に多少の違いはあるが、大きくは可燃ごみ・不燃ごみ・紙ごみの 3 種類に分けられる。
ごみ箱やその付近に表示を貼り、混入が無いよう呼び掛けている。特に人数の多い本社では、イラストを使用して分かりやすい分別の案内を心掛けている。
ペットボトルのキャップは回収容器を設置し、回収後は弊社三田工場へ送るようにしている。

② 廃棄物の有価処理、備品などのリユース

昨年度は本社の 3 階事務所改装があり、机や椅子など多くの不要物が出てしまった。そのまま処分をすれば全て廃棄物となるが、本社内の別フロアや他拠点に呼びかけ、再利用を呼び掛けた。全てのものを再利用することは出来なかったが、机や椅子は 3 割程を他部署・拠点に送り使用をしている。
廃棄物の削減だけでなく、新たに什器を購入する経費も抑えることが出来た。

③ 産業廃棄物マニフェストの適正管理

本社と PEPPY HAPPY PLACE で産業廃棄物の排出があるため、適切な廃棄物保管庫の設置、マニフェストの管理（本社は電子マニフェスト）、交付状況報告書の提出を法令に則り行っている。

上記取り組みを進めたが、一般廃棄物は PEPPY HAPPY PLACE の重量計算方法が変更になったため、合計では大幅に増加。産業廃棄物も本社の事務所改装に伴い大量に廃棄物が発生したため、どちらも目標未達成となった。支店では人数や業務量の増減がある中で、微増に抑えられた拠点や目標達成をすることが出来た拠点もあり、良い結果となった。

次年度についても分別の徹底を中心に、各種取り組みを継続する。

省資源の取り組み

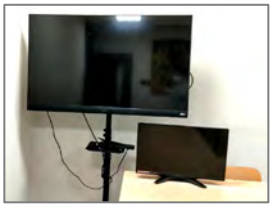
関連するSDGsのゴール

① カレンダー残紙の活用

本来廃棄するカレンダーを A4・B5 サイズに弊社三田工場で断裁した後、各拠点へ発送し使用することで新たなコピー用紙の購入を抑えている。また、本社でも一部を断裁し、A4 用紙だけでなく伝言メモなどに使用している。

② 紙媒体からデータでの共有、会議時のモニターなどの活用

コロナ禍で在宅勤務・Web での会議といったことが増え、資料を「印刷して配布」ではなく Web で共有することが増えた。
また、モニターやプロジェクターで投影し「資料を配布しない」ことも増えたため、用紙の使用を抑えることが出来た。



③ 両面・集約印刷の活用

複合機の両面・集約印刷を活用することで、コピー用紙の使用を抑えられた。
コピー用紙の使用量を抑える取り組みの全てに共通するが、印刷物が減少したことでトナー使用の抑制にも繋がり、廃棄物の削減も同時に進めることが出来た。

本社は 3 階事務所改装後、フリーアドレス制となった。その結果、これまでは自席があり「資料も机の上に置いたまま」といった場面が散見されたが、自席が無く常にクリーンデスクが徹底されるようになり、資料が山積みされるようなことが無くなった。
受け取る資料、自ら出力する資料を最小限に留めるようになったためである。結果、出力物が減少しコピー用紙購入量が大幅に減少した。

④ 自動水洗、擬音装置の付いたトイレの設置

2023 年度に本社 1 階のトイレを改装し、全てのトイレが自動水洗、擬音装置付きのものとなった。水の使用量は最小限となり本社は目標を達成することが出来た。九州支店も使用量が少ない中で厳しい目標値に対して微増で留めることが出来た。
一方で PEPPY HAPPY PLACE は、入居者数の増加に伴い共用部の水使用量が増加。目標未達成となった。増加傾向は今後も続くため、実態に見合った目標設定が必要となる。

次年度についてもペーパーレス化に努め、節水を含め省資源の取り組みを継続する。

社内備品のグリーン購入促進

関連するSDGsのゴール

日々の業務で使用する様々な備品は、各拠点でエコマーク商品やグリーン購入法適合商品を積極的に購入している。主なものでは修正テープやボールペンの芯といった詰め替え可能商品や、FSC 認証のコピー用紙が該当する。

次年度についても同等の取り組みを継続する。

一般医薬品の適正管理

関連するSDGsのゴール

ペピイ事業部 VET 販売部に所属する管理薬剤師により、動物病院様へ販売する医薬品・医療機器を適切に管理している。

次年度についても適切な管理を継続する。

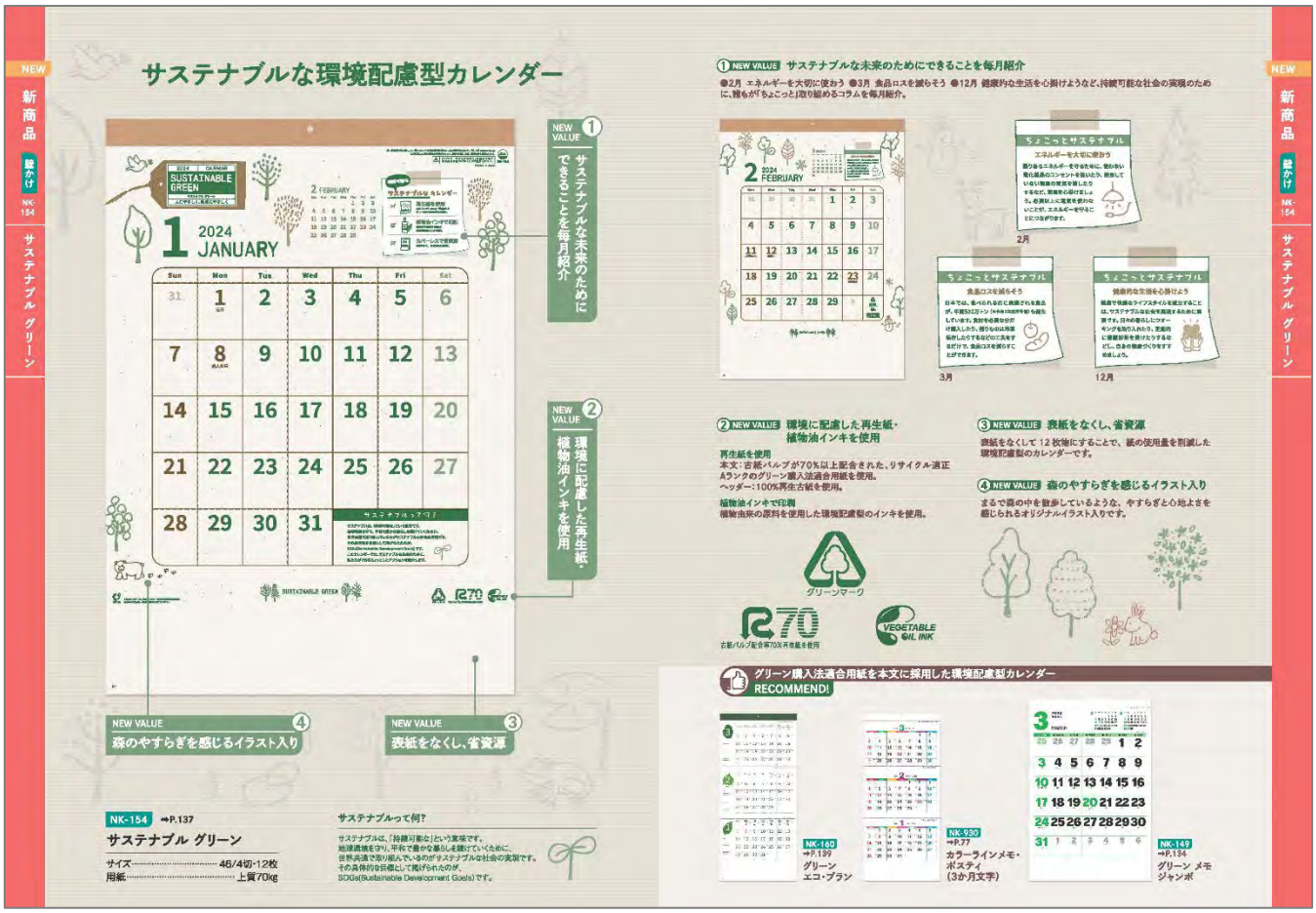
PEPPY vet

- 高度管理医療機器等販売業、貸与業許可証
- 動物用医薬品卸売販売業許可証
- 医薬品販売業許可証
- 毒物劇物一般販売業登録票

環境配慮製品の販売促進

関連するSDGsのゴール

① 環境に配慮した商品開発・製造



2023 年度は「サステナブルな環境配慮型カレンダー」と銘打ち、環境に配慮した素材を使用した新商品を販売した。持続可能な社会実現のために出来ることの啓発や、やすらぎを感じられるイラストなど、見る人の気持ちを和らげながらも、環境を意識することが出来る商品となった。森林認証や無塩素漂白紙の使用や紙製本については、新商品に限らず従来の商品でも継続した。

〈植林木使用用紙〉

植林 この用紙は植林木を使用しています

計画的に、植林→保育→伐採→植林を繰り返した植林木から原料を調達した印刷用紙です。この植林木による「森林のリサイクル」は、地球温暖化防止に貢献しています。

〈森林認証材使用用紙〉

森林認証 この用紙は森林認証材を使用しています

森林認証とは、適切に管理された森林とそこから得られる林産物であることを、第三者機関が認証・証明するものです。この認証を受けた森林から調達した木材を原料として使用した印刷用紙です。

〈無塩素漂白(ECF)紙〉

ECF 無塩素漂白パルプを使用しています

主原料のパルプを、塩素ガスを使用せずに塩素化合物がほとんど発生しない酸素系漂白剤を使った方法で漂白した紙です。これにより焼却した際も、ダイオキシンの発生のない、または、きわめて少ない環境保全に適した印刷用紙といえます。

〈植物油インキ〉

VEGETABLE OIL INK

インクに含まれる油の一部を、植物油に替えたものです。植物性の油であるため、大気中への有機化合物の蒸発が少なく、地球環境にも、作業環境にも、健康環境にもやさしい印刷用のインクです。NKでは、カレンダーの印刷および名入れの印刷にも、積極的に植物油インキの使用を進めています。

〈紙製本〉

紙

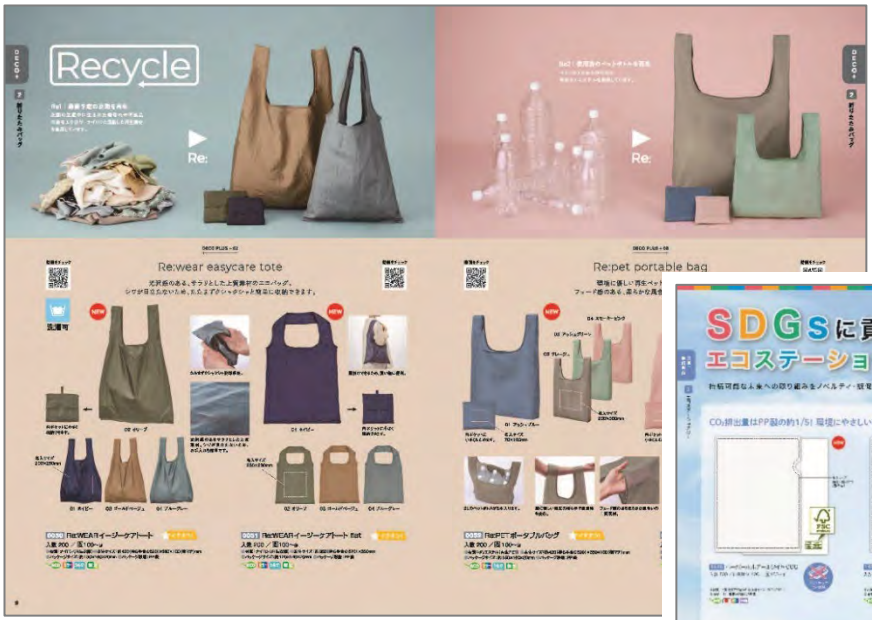
カレンダーの綴じる部分に金属を使用せず、厚紙と特製接着剤で製本する方式の事です。使用後にそのまま燃えるゴミとして処分でき、また焼却しても有害物質を発生させません。

② SDGs レポートとして活用可能なカレンダーの販売

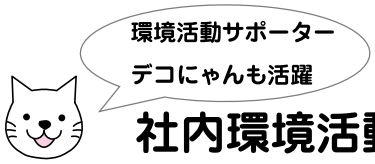
昨年に続き、2023 年度も SDGs レポートとして活用することが出来る卓上カレンダーを販売した。
この商品を通して、弊社だけではなくお客様の SDGs の取り組み発信に、微力ながら貢献することが出来た。
このカレンダーはカレンダー上部のリング部分に、通常は金具リングで製本するところを、新素材の「エコ紙プラリング」（紙 51%）を使用し、環境にやさしい商品となっている。

③ リサイクル素材の使用や廃棄物の削減に貢献できるノベルティグッズの販売

カレンダー事業部で取り扱っているノベルティグッズの中で、2023 年度は新商品として「廃棄予定の衣類」や「使用済みのペットボトル」を使用した折りたたみバッグを開発し販売した。
また、仕入れ商品ではあるが、海洋プラスチックを使用したボールペンや紙製ファイルなど、SDGs に貢献できる商材を新たにカタログへ掲載し、積極的に販売活動を行った。



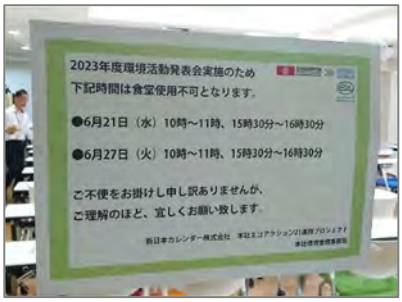
次年度についても各種環境配慮製品の販売を促進する。



社内環境活動の報告

関連するSDGsのゴール

**新型コロナウイルスの５類移行に伴い、過去３年間集合形式での実施を見送っていた「社内環境活動発表会」を、皆で集まって実施することが出来ました。
ここではその様子を一部お届けします。**



2023 年の発表会は１日２回を２日実施

初日の本社は会場が満席！
支店とは TV 会議システムで中継

●2022年度 本社 取り組み実績・数値報告

項目	単位	目標	実績	達成率
電気使用量	kWh	138,083	133,378	
ガソリン給油量	ℓ	5,964.6	4,532.2	
コピー用紙購入量	枚	827,467	748,750	
一般廃棄物排出量	t	31.42	34.00	
産業廃棄物排出量	t	40.96	38.47	

発表会の内容は主に
前年の実績と取り組み紹介・エコクイズ の２本立て

今回のクイズは個人戦！
支店からも参加し、得点上位者は
景品（下図参照）をプレゼント。

Q.1 本社の過去3年の電気代推移の説明として、正しいものはどれ？

A. ②電気使用量は3年前と比べて約5%減少したが、電気代は約40%増加した

●解説
電気使用量は皆様のご協力のおかげで、毎年減少しています。
一方、電気代は昨今の燃料費高騰もあり、大幅な上昇が続いています。
社長も3月の朝礼で仰られていたように、身近な節電が経費削減や二酸化炭素排出量削減に繋がり、会社と地球環境のどちらにも良い影響を与えます。

2023年3月 月初朝礼より

エコクイズは社内の取り組みや時事問題から出題

参加者・運営スタッフアンケートのどちらでも、動画ではなく実際に集まって実施したことで、動画で一方的に行うよりも良かったという声が多かったです。楽しく前向きに日々の環境活動に全員が取り組めるよう、引き続きプロジェクトメンバー・事務局一同、頑張っていきます。

06 環境関連法規制等の順守状況

適用される法規制	該当する要求事項・適用される施設等	適用事業所
・廃棄物処理法及び関連条例	一般廃棄物の適正処理 資源化可能な紙類の焼却工場への搬入禁止 産業廃棄物マニフェストの保管、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出（毎年6月末まで） ※適用施設等…保管場所、産業廃棄物（紙くず・OA機器）	全社
・騒音規制法 ・大阪府生活環境の保全等に関する条例	届出施設設置の届出 （冷凍機及び空調機：7.5kW以上）…空調機1台	本社
・労働安全衛生法	労働者の安全と健康の確保、快適な作業環境を作ること	全社
・家電リサイクル法	有効資源の再利用、廃棄物削減 ※適用施設等…テレビ、冷蔵庫、エアコン	全社
・資源有効利用促進法	有効資源の再利用、廃棄物削減 ※適用施設等…パソコン、ディスプレイ	全社
・フロン排出抑制法	オゾン層破壊及び地球温暖化を防止するための フロンガス廃棄の規制、引取証明書による確認と記録の保管、 定期点検・簡易点検 ※適用施設等…業務用エアコン	全社
・容器包装リサイクル法	有効資源の再利用、廃棄物削減 ※適用施設等…段ボール、ラップ、エアキャップ	全社
・省エネ法	全事業所合わせて1,500kℓ以上で該当 ⇒弊社は1,500kℓ未満のため該当しない	全社
・医薬品医療機器等法	医薬品の販売業の許可 高度管理医療機器等の販売業務及び賃貸業の許可 …動物病院向け医薬品	ペピイ事業部 VET販売部
・毒物・劇物取締法	毒物又は劇物の取扱、毒物・劇物一般販売業登録 …動物病院向け医薬品	ペピイ事業部 VET販売部
・消防法及び関連条例	火災報知器・屋内消化栓の設置、消防用設備の点検と報告	全社
・ビル管理法	特定建築物等の維持管理	本社
大阪市廃棄物の減量推進及び適正並びに生活環境の清潔保持に関する条例	「廃棄物の減量推進及び適正に関する計画書」の提出 （毎年4月30日まで）	本社

避難訓練については建物内で火災発生の想定で、全拠点で避難訓練を実施。

本社・名古屋支店…2023 年 11 月　PEPPY HAPPY PLACE…2023 年 6 月

東京支店…2023 年 10 月　九州支店…2023 年 5 月

滞りなく完了したが、九州支店は 2024 年 3 月に移転をしたため、2024 年度中に新たに手順書を作成し、それを基に避難訓練を実施する。

2024 年 7 月 1 日に行った「環境関連法規制等の順守評価」の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。関係当局より違反等の指摘、訴訟も過去 3 年間ありません。
また、各拠点とも近隣からの苦情等はありませんでした。

07

代表者による 2023 年度取り組みの総括見直し・指示

2023 年度は中期計画初年度の年となり、本業において様々な取り組みを進めました。
当社従業員の頑張りと、当社に関わる全ての皆様のおかげで、良い業績で終えることができたことに感謝申し上げます。
新型コロナウイルスの 5 類感染症移行に伴い、コロナ禍で日常風景となった動画配信やオンライン商談による営業活動だけでなく、リアルの展示会出展や遠方への出張なども再開し、以前の日常が戻ってきたことを感じられました。
環境活動においても、環境活動発表会を過去 3 年の動画配信ではなく、集合形式で実施したことで、日々の取り組みの理解を深め、改めて従業員一丸となって環境活動に取り組むことができるようになりました。
数値だけを見ると「よくできた」と言える年ではなかったかもしれませんが、皆が当たり前のように日々の業務の中で細かな節電やごみの分別に取り組んだことで、環境負荷が大幅に増加しなかったと自負しております。

当社では事業活動の中で、総フォロワー数 50 万人を超える SNS「暦生活」を通して、日本の伝統文化や四季の美しさ、暦の情報を発信しておりますが、宇宙や自然の素晴らしい営みが人の起こした環境破壊によって蝕まれることのないように、自分たちで出来る小さな努力を続け、「持続可能な社会」の実現にこれからも貢献して参ります。

最後までご覧いただき誠にありがとうございます。

環境経営方針	■ 変更無し	□ 変更有り	
環境経営目標・計画	■ 変更無し	□ 変更有り	
実施体制他	□ 変更無し	■ 変更有り	2024年4月1日より環境管理責任者が交代。 引き続き、プロジェクトメンバー・事務局一丸となって環境活動を進めていくこと。

代表者

代表取締役　社長　　宮﨑 安弘

エコアクション21
認証番号 0007514

自然と共に笑顔で暮らす

新日本カレンダー株式会社